

MIRAI NO WA MONO | JAPANESE FUTURE GROOVE

# 未来和E!

TOWER VINYL



**BIALYSTOCKS** 2022.01.26  
1st EP RELEASE

**TIDE POOL**

01. Over Now
02. All Too Soon
03. フーテン
04. 光のあと
05. あいもかわらず

オンラインストア「TAKE PACK」楽曲提供

CD Only / PCCI-00006  
¥1,650 (tax in)

Bialystocks 1st EP  
「TIDE POOL」RELEASE LIVE

W / Ryu Matsuyama ADV ¥3,500 (DRINK) / DOOR ¥4,000 (DRINK)

2022.02.25 (Fri)  
LIVE HOUSE FEVER  
OPEN 19:00 / START 19:30

# Bialystocks

TOWER RECORDS

# Bialystocks interview

南木元空（ボーカル／ギター）と菊池剛（キーボード）からなる注目のユニット、Bialystocks（ピアリストックス）。映画監督でもある南木元が自身の監督作『はるねこ』（青山真治がプロデュース）の生演奏上映をきっかけに結成したバンドで、その美しく多彩なサウンドは既に厚い支持を受けている。ここでは2作目の全国流通となる1st EP『Tide Pool』を機に「未来ノ和モノ」について訊いた。

—— 未来や世界のリスナーに向けた『Tide Pool』の聴きどころは？

A：五曲入りのEPですが、通して聞いた時にアルバムのような聞き応えがあるように仕上がったと思います！

—— 今後の日本や世界の音楽シーンについての展望を教えてください。

A：サブスクによって新譜や旧譜、ジャンルや国境など取り払われて伝わってしまう不確かさ。小瓶を大海原に放つような、漂流する事の面白さをもっと楽しめたらと思っています。

—— 日本的な感性や日本の音楽の「いいな」と思う部分は？

A：良くも悪くも島国であるという事は最近意識するようになりました。独自の文化はありながらも、常に海を隔てて外と内という意識が存在します。海を隔てている事によって滞留していた日本独自のものが、外のものとの混ざった時に生じる歪さがいいなと思います。外からの影響を受けつつも流されきらない、歪さが個性として残る曲を自分たちもつくれたらと思っています。

—— 今後、Bialystocksはどうありたいですか？

A：まずは自分たちが楽しめる事、自分たちが聞きたいと思える曲を作り続けられたら嬉しいです。



Bialystocks 『Tide Pool』  
についてのインタビューは  
mikiki.tokyo.jp で!

<https://mikiki.tokyo.jp/articles/-/30773>



そのサウンドは、機能性を損なわずに時代を超越する。

そのサウンドは、新たな機能性を見出だされ時代を超越する。

20年後、30年後、世界中の音楽ディカーに発見され、興奮し、語り継がれる日本の音楽。フロアを揺らす音楽。決して消費される事のない音楽。音楽はタイムマシン。

盤は回り、そのサウンドは未来へと繋がって行く。



## Bialystocks 『Tide Pool』

**美しいサウンドスケープを描きジャンルを自由に横断する2人組の初全国流通作**

映画監督でもある南木元空（ボーカル／ギター）が自身の監督作『はるねこ』の生演奏上映をきっかけに結成したバンド、Bialystocks。ソウルフルなボーカル、フォーキーで温かみのあるメロディー、深みを湛えたリリック、ジャズをベースにした音楽性、映像を浮かび上がらせるサウンドスケープ……。映画からアート、ダンス、漫才まで自由にジャンルを横断する活動を展開し、洗練された音楽はくりり、Official髭男dism、小袋成彬ら多くのミュージシャンが支持。この2作目の全国流通EP『Tide Pool』には既に話題になっている先行曲「光のあと」「All Too Soon」他全5曲を収録。今注目の2人の音を感じてほしい。

1/26発売

## Editor's Choice

### グソクムズ 『グソクムズ』



好評発売中

**吉祥寺の新星バンドが描く「ネオ風街」**

はっぴいえんどや高田渡、シュガー・ベイブを敬愛する4人の若者たちからなる吉祥寺の新星バンドが1stアルバムをリリース。日本語詞と爽快なロックサウンド、美しいコーラスで「ネオ風街」を描く、初作にして既に名盤の風格が漂う逸品。

### 碧海祐人 『表象の庭で』



好評発売中

**注目の新人が渾身の1stで描く「文学的メランコリア」**

ラジオのハワープレイや巨大プレイリストへの選出、フジロックへの出演などで注目を集める才能・碧海祐人。石若駿、さらさが参加、葛西敏彦が共同プロデュースした渾身の1stアルバムで、文学的な歌詞とR&Bやジャズのフィーリングによるメランコリアを表現。

## 南木元空's Choice



ボ・ガンボス  
『BO & GUMBO』



前野健太  
『ハッピーランチ』



萩原健一  
『熱狂・雷舞』



荒木一郎  
『D.M.』

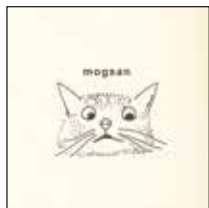
## 菊池剛's Choice



スキマスイッチ  
『夕風フレンド』



太田裕美  
『こけていっしょ』



mogsan  
『月と健康』



竹内まりや  
『LOVE SONGS』

## Spoonful of Lovin' 『On the Base, Without the Bass』



好評発売中

**揃いのユニフォームのイカした4人が名曲をカントリーに**

バイドバイバーハウスの長門芳郎（監督）の呼びかけで結成された谷口雄（元・森は生きている）、ボニーのヒサミツ、渡瀬賢吾（bjons）、サボテン楽団によるカントリーバンド。揃いのユニフォームを纏い「男はつらいよ」、ムーンライダーズ、オアシス、YMO、オフ・コースらの名曲をカバー。

## 阿佐ヶ谷ロマンティクス 『大人幻想』



好評発売中

**サウンドの幅を広げた「阿佐ロマ」印の日本語抒情ポップス**

ロックステディやレゲエなど中南米音楽を日本語ポップスに落とし込み、海外での評価も高い5人組。3年半ぶりの新作はTAMTAMの高橋アフィ、折坂悠太（合奏）の宮坂遼太郎の助力でサウンドの幅を拡大。「阿佐ロマ」らしい抒情ポップスと新たな挑戦が詰まっている。

## Yank! 『Stupa』

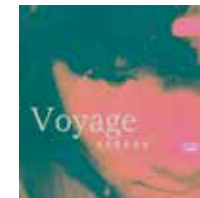


1/26発売

**黒の煙の奥に揺らめく八篇のサイケデリア**

東京の4ピースによる待望の1stフルアルバムは、バンドのコンセプトであるサイケデリックロックやブラックミュージックの要素を取り入れたミニマルでメロウなサウンドが極まった一作。中村公輔による音作りやタクロー（Jan flu）のアートワークにも注目。

## okkaa 『Voyage』



1/26発売

**Z世代のDIYマルチクリエイターが新時代を切り開く**

写真や映像、小説もクリエイトする、Z世代のマルチなDIYアーティストによる初のフルアルバム。ヒップホップやR&B、ゴスペルなど多彩なジャンルの音楽を昇華させて生み出されたチルでスムーズなサウンド、そして唯一無二のウィスパーボイスが新時代の到来を告げる。